

# 大衆のまちミナミと粋のまち道頓堀

大衆を育み大衆に愛された千日前、難波と粋のまち道頓堀のミナミの文化とは

### マップ位置図

**↑拡大マップ**

**中央区の概要**  
 創設日：平成元年(1989年)2月13日  
 (旧東区と旧南区が合併)  
 面積：8.88km<sup>2</sup>  
 (平成22年10月1日現在国土地理院発表)  
 世帯数：52,613世帯(平成25年2月1日現在)  
 人口：83,572人(同上)

裏面にトピック記事あり EV 駅利用エレベータ 登録有形文化財

**9** もと精華小学校、立派な建物として地域に愛されてきました

**10** 映画興行発祥の地と知り、感銘を受けた小林一三が碑を制作

**11** 波屋書房、織田作之助など多くの作家が通っていました

**12** その昔お化け屋敷や木下大ザカスなどがありました

**13** ワッハ上方、昔は金比羅さんがあり、今も昔もミナミの拠点

**14** 厨房用品から家庭の台所用品まで揃う千日前道具屋筋

**15** 左図は昭和30年代初めの千日前通、大量の車で交通渋滞、市電撤去の音があがります。右図は現在の千日前通、阪神高速の高架があります

**16** 現在のニッ井戸、地域が協力して復元されました。ニッ井戸について金田さんよりお話を伺いました

**17** 文楽人形

日本で唯一の国立文楽劇場 演劇や舞踊が上演されます

### 3 歓楽街の一角にお寺が！

千日前一帯には数多くのお寺があり、たくさんの僧侶がいました。千日前周辺が歓楽街化するに伴い、お寺の姿は消え、僧侶の姿も見かけなくなりました。住職の鳥居さんは「昔の姿を取り戻したい。僧侶が闊歩することで安全なまちになれば」と考え、平成24(2012)年8月、弘昌寺を建立し、毎日護摩を焚いています。現在は外国人のコミュニティ拠点、まちの寺子屋等、新しいスタイルのお寺として注目されています。



**1** 戒橋、かつて橋の近くにあやつり人形の店があり、「あやつり橋」と呼ばれていました

**2** 浮世小路、一人通るのがやっとの小道は、まちの小さな博物館

**3** 弘昌寺、毎日、護摩を焚いています

**4** 戒橋筋商店街に福を招くイルミネーションがたくさん！

**5** 法善寺の水かけ不動、たくさんの苔に覆われています

**6** 石畳の法善寺横丁には風情豊かなお店が並んでいます

**7** ビックカメラは、楽天地→大阪歌舞伎座→千日デパート→ブランドンなんばの経緯をたどる

**8** 発見！建物の横にひっそりと建つ覆地蔵尊、昔はもっと大きかった

「オダサク」-織田作之助、生誕100周年

大阪の庶民の生活、昭和の町衆を描き続けた織田作之助は大阪を代表する作家。法善寺が舞台となった「夫婦善哉」は織田作之助の出世作です。法善寺横丁では作中で描かれた夫婦善哉を食べることができます。織田作之助は今年で生誕100周年、映画となった作品が上映されるなど、故郷の大阪で再び脚光を浴びています。

大正ロマンをコンセプトに再現されたレトロな路地には、吉本興業や吉里さんの貴重な資料が展示されています

浮世小路の実現に尽力された吉里さん

この辺りは、「御蔵跡」と呼ばれ、江戸時代に米倉が並んだことに由来とも言われています

戦前の道具屋筋・家具屋街 金毘羅神社やそこの勧進相撲に人がたくさん集まり、古道貝屋、家具屋などが集まりました。それが現在の道具屋筋、家具屋街のはじまり。最近では流通の変化により、店舗数が減少しています。地図製作著作権者 安藤 豊さん

市販のカインドラックとはひと味違う「区民がつくったカインドラック」

「区民が街の文化を知って、盛り上げたい」「市販のカインドラックとはひと味違う。区民が自慢、自愛、それが中央区わかまちカインドラック。ご家庭ではお馴染みから、もちろん学校でも、わかまちの魅力を口から口へ伝えたい。ぜひおうちで楽しんでください。中央区わかまちカインドラックは、区民自らがつくりだす活動のために設立された団体で、平成18年度から、区の趣向向上や課題の克服等に活用されています。平成20~23年度まで「カインドラックvol.1~8」を制作、今回、シリー大規模リニューアルとして発行する声も、行きたくなる、連れて行きたい、このカインドラックを持って、表裏にまち歩き、もっと中央区を知りたい、制作メンバーの何よりの願いです。おもてなしの心で、駅から、席に伝えていけるよう、ぜひご活用ください。

発行 問合せ 発行 中央区わかまちフォーラム 中央区未来わかまちフォーラム 推進委員会 大阪市中央区市民協働課 06-6267-9832 平成25年3月発行 編集 街角企画株式会社 ※文・写真・地図等の原稿提供、複製を禁じます。 ※平成25年3月1日現在の情報を掲載しています。



市販のカインドラックとはひと味違う「区民がつくったカインドラック」

「区民が街の文化を知って、盛り上げたい」「市販のカインドラックとはひと味違う。区民が自慢、自愛、それが中央区わかまちカインドラック。ご家庭ではお馴染みから、もちろん学校でも、わかまちの魅力を口から口へ伝えたい。ぜひおうちで楽しんでください。中央区わかまちカインドラックは、区民自らがつくりだす活動のために設立された団体で、平成18年度から、区の趣向向上や課題の克服等に活用されています。平成20~23年度まで「カインドラックvol.1~8」を制作、今回、シリー大規模リニューアルとして発行する声も、行きたくなる、連れて行きたい、このカインドラックを持って、表裏にまち歩き、もっと中央区を知りたい、制作メンバーの何よりの願いです。おもてなしの心で、駅から、席に伝えていけるよう、ぜひご活用ください。

発行 問合せ 発行 中央区未来わかまちフォーラム 中央区未来わかまちフォーラム 推進委員会 大阪市中央区市民協働課 06-6267-9832 平成25年3月発行 編集 街角企画株式会社 ※文・写真・地図等の原稿提供、複製を禁じます。 ※平成25年3月1日現在の情報を掲載しています。

区民カインドラックのすべれもん

カインドラックを手にまちを案内するカインドラック、それが中央区わかまちカインドラックです。紙面の裏面にわかまちカインドラックには、ふか〜ゆか〜から、最新情報まで、区民カインドラックでご紹介しています。

カインドラックで紹介されていない地域でもOKです。地でも、趣味や特技を活かした講座など、暮らしと地域を盛り上げる活動のお手伝いにもご活用ください。区民が気軽に参加できる活動を、ぜひご活用ください。お問い合わせお待ちしています。また区内の魅力発信したい方、地域活性化にご協力いただける方を、新たな「すべれもん」として募集しています。自費、他機関がサポートしています。